

# NPO 法人 鹿児島技術士の会 講演会事業 業務計画

平成 22 年度の講演会事業 業務計画

## 1. 目的：

会員や一般社会人へ向けて、最新科学知見・技術・産業動向等の講演をとおして科学技術への好奇心を高めるとともに、広くその啓発・普及を図る。

## 2. 事業計画

鹿児島において科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、建設業等あらゆる産業のイノベーションや起業、その課題解決にむけた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

### 2-1 第1回の内容

平成 22 年 12 月 23 日(木) 14:00～17:00

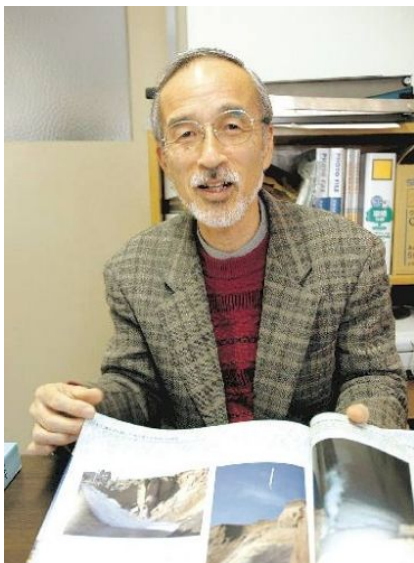
鹿児島市よかセンター（キャンセビル7F 第一会議室）

鹿児島市中央町10番地（ダイエー内）

会 費：一般；1,000円、会員；700円（会場・資料作成等）

演題：最近の間氷期・氷期に鹿児島では何が起こったか

\*\*\*\*\*



講師：大木 公彦（おおき きみひこ）

1947 年生まれ。鹿児島大学総合研究博物館館長、教授。

地球科学を専門とし、研究内容は、海底表層堆積物および底生有孔虫による海洋環境学的研究、後期新生代層序と構造発達史、古生物学的研究、地質災害と防災に関する研究など。

著作：「鹿児島湾の謎を追って」（かごしま文庫 61、春苑堂出版、2006 年）ほか。

## 2-2 講演要旨

地球温暖化が叫ばれて久しい。最近の地球科学の研究はめざましく、人類の出現後の地球環境の変遷が高い精度で明らかになった。地層や化石に残された人類の履歴と環境の変遷を明らかにすることは、これからの私たちを取り囲む環境の変化を推測する上で極めて重要である。とくに海洋底生有孔虫（生物）の遺骸に含まれる酸素同位体比から得られた過去の海水温変化曲線は、貴重なデータを私たちにもたらした。これらのデータを含め、12.5万年まえの最終間氷期以後の鹿児島県の歴史について、地球科学の立場から述べたい。

## 3. 共催後援等

- 共催 鹿児島県測量設計業協会(CPD 認定申請),鹿児島県建設コンサルタント協会,  
鹿児島県地質調査業協会
- 後援 鹿児島県（予定）  
鹿児島県技術士会（予定）  
鹿児島県環境技術協会（予定）

CPD 認定申請 日本技術士会九州支部（管理番号：101223280B01）